

受験を支える、読書！

～進学資料「求学志成」合格体験記より抜粋～ 天草高校図書館

面接や小論文は練習を重ねる、これにつきます。ネタ集めとして新聞を読むこともおすすめです。図書館にある「新聞ダイジェスト」は分野別に新聞記事がまとめてあり使いやすいのでぜひ見てみてください！（R2 熊本大学 合格）

小論文は課題文と英文が与えられるため、ひたすら単語帳で英単語のレパートリーを増やしました。また、図書室にある英字新聞を読んで課題文に出そうなテーマを研究したり、和訳の練習をしたりしました。（R2 熊本県立大学 合格）

1・2年生のうちに自分の関心のある本や新聞記事を読んでおくことも大事だと思います。私は教育関係の本を中心的に読んでいたのですが、現代の教育問題や教育現場の現状など、教育についての知識をさらに深めることができました。その知識は面接にも役立ち、今後にもつながっていく知識であると考えています。本や新聞からはたくさんの知識を得ることができ、とても勉強になるので、積極的に読んで今後活かしていきましょう。（R2 鹿児島大学 合格）

二次試験は天草市役所を受験しました。はじめに行ったことは情報収集です。天草市のホームページやパンフレット、市政だよりなどを読み、気になる政策や記事に関する自分の意見をまとめました。（R2 公務員 合格）

医療系の本や新聞を読みました。本は医療・看護系の小論文によく出る記事がまとめているもの（※）を朝読書の時間を利用して熟読し、新聞は切り抜いてノートに貼りました。これは小論文にも役立つことなので、コツコツ取り組むことが大切です。図書室には小論文対策のコーナーや、新聞の切り抜きが分野ごとにまとめているものがあるので、ぜひ探してみてください。※雑誌「切り抜き速報 医療と安全管理」（R1 鹿児島大学 合格）

小論文・面接練習は練習はあるのみです！小論文対策も兼ねてネタ集め（おススメは、雑誌「新聞ダイジェスト」や新書、テレビ「クローズアップ現代」の視聴）はもちろん、寝室に受験レポートもあるので（もちろん私のもの）、進路室も活用しながらやるといいと思います。（R1 広島大学 合格）

小論文は、知識がないと書くことができないので、栄養に関する本や新聞記事を読みました。3年になって苦労しないように、1・2年のうちから自分が興味のある分野の本や新聞記事に目を通しておくといいと思います。(R1 熊本県立大学 合格)

普段の読書に英語で書かれた本を取り入れることも効果的です。私は2年生になってから英語の本を読み始めましたが、そのおかげで長文を読むスピードが速くなりました。(R1 公務員 合格)

私には英語をとっても勉強したという記憶がないのですが、日頃の模試だけでも英語が安定して好成績を残せていました。その理由として思い当たるのは、読書です。読書といっても、朝読書の時間に英語で書かれた本を読んでいました。長時間ではありません。最初は友達に勧められて読み始めたのですが、みるみるうちに読解力や読むスピードが上がりました。知らない単語を文脈から判断して読む力も試験では重要です。興味がある内容の英文を毎日少しずつ読むだけでこのような力が身につくのはとてもお得でした。(H31 広島大学 合格)

私は、2年生の秋から新聞を読み、気になった記事や自分がなりたい職業に関する記事をノートに貼り、その記事を読み感じたことを書いていました。実際に面接で聞かれて役に立ちました。全部に目を通す時間は無くても、自分が目指している分野に関する記事は読むようにしましょう。面接にすごく役立ちます！(H31 海上保安庁 合格)

センター試験から二次試験までの約1ヶ月間に行なったことは、新書を読むことです。教育、英語、医療など、法律に限らず色々な分野を網羅し、具体例や論証に使えるようにしました。小論文は作文と異なり、文章に論理性が必要となるため、知識が多ければ多いほど有利であることは間違いないと実感しました。また、新聞を切り取り、要約することも毎日継続しました。(H30 北九州市立大学 合格)

小論文は、はじめは何を書いたらよいかわからなくて、原稿用紙に文字を埋めるので精一杯でした。小論文は、知識がないとなかなか埋まりません。そこで私は、図書館で医療記事がまとめたスクラップを借りて読んで、要約や感想を書いたノートをつくりました。面接などでも役に立ったので、よければ参考にしてください。(H29 熊本労災看護専門学校 合格)

英語は好きな時間に何時間でも触れていました。家に帰って少し暇だなあと感じたとき英単語帳を眺めたり、英語で書かれている本を図書館で借りて読んだりしていました。(H29 北九州市立大学 合格)